### 岐阜大学男女共同参画推進室

~News letter ~



41号 2013年11月

#### トピックス

- \* 「今どきの大学生の本音」
- \* 育休交流会
- \* WLB講演会
- \* 地域体験実習
- \* 学内保育園たより



### 座談会「今どきの大学生の本音」

10月30日(水)に岐阜市女性センターにて「今どきの大学生の本音」と題して、岐阜大学在学生による座談会が催され、男女共同参画推進室の松井真一特任助教がコーディネートを務めました。参加した学生は、小橋愛美さん(教育学部)、鈴木彩日さん(地域科学部)北井



亮祐さん(応用生物科学部)、馬渡健司さん(工学部)の5名です。参加した学生は、10年後の自分や結婚観、職業観、これからの社会などについて話し合いました。座談会の様子は、次号の「ぎふし男女共同参画情報紙『織』」(岐阜市女性センター発行)に掲載される予定です。ぜひご覧ください。



### サイエンス夢追い人育成プロジェクト 実施報告



平成25年11月9日(土)に、連合農学研究科1年の山本彩織さんが、聖マリア女学院高等学校の1年生100名を対象とした出前講義を行い、二ホンライチョウの保全に関する研究とこれまでの進路選択について講演しました。今回の実施校は女子高校であったため、受講者にとっては山本さんの講義は少し年上の同性の先輩からのお話として大学生活を想像させるのに十分に役立ったようです。また、講演に用いられたスライドは、たくさんの写真を用いるなど工夫が施してあり、難しい研究内容がわかりやすく説明されました。講師を務めた山本さんも、この講義を通して研究内容を伝える力を大きく伸ばすことができたようです。

### アンケート結果

O 科学や研究への興味について



【希望分野】

理系:22名 文系:69名 その他:9名

- 自分の知りたいことを専門的に、長い時間をかけてできる大学院はいいなと思いました。
- 私も動物が好きで応用生物学部には興味があって、 色々と知ることができました。進路の選択すると きのことなど、大変ためになりました。
- ・ 得意な科目は文系が多かったけれど自分の夢をかなえるために理系へ進学したことは、すごいと思いました。私も自分の夢を実現するために、苦手なことにも頑張って取り組みたいです。

### 育児休業者交流会を開催



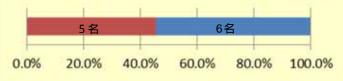
10月21日(月)、育児休業中の事務系職員のための交流会が開催されました。

この交流会は、人材開発部職員育成課の次世代育成支援の取り組みの一環として、育児休業者の職場復帰を支援するために、昨年度から実施されているものです。交流会には、育児休業者11名と育児休業経験者2名、人材開発部担当職員が参加し、復帰後の仕事と育児の両立に不安を抱えている育休者からの質問に、育休経験者が体験談を話したり、人材開発部担当職員が両立支援制度の取得について説明するなど、有意義な交流会となりました。



#### 交流会アンケート結果

本日の交流会は、あなたにとって有意義でしたか?



- ■1. とても有意義だった
- ■2. 有意義だった
- ■3. どちらともいえない
- ■4. 有意義ではなかった

#### (自由記述)

- 復帰後の様子が聞けて良かった。
- 保育園の状況等、経験者の話も聞けて有意義だった。
- 自分が抱えている不安を他の方も持っていると分かって安心した。

### ワーク・ライフ・バランス講演会の お知らせ

「これからの介護時代に向けて・・・」 ~介護と仕事の両立のために~

最近、「介護」という言葉を今まで以上によく聞くようになりました。私たちは、この先「介護する」側にも「介護される」側にもなる可能性があります。今一度、介護保険・介護休業といった現行の制度について学び、今後、介護が必要になる時のために備えてください。

日 時:平成25年12月13日(金)

15:00~16:15

場 所:全学共通教育棟1階105講義室

講師:公益財団法人21世紀職業財団

客員講師 土井 文子 氏

事前申込不要です。どうぞご参加ください。

人材開発部・男女共同参画推進室 共催

# 学生向け進路相談ご利用ください。



### ぎふ清流参画ネットを開催

平成25年12月13日(金)16:15~17:30 地域科学部第1会議室でぎふ清流参画ネット(岐阜県 内自治体男女共同参画意見交換会)を開催します。 「第3次岐阜県男女共同参画計画」について、各自治体 の担当者と意見交換会を行います。

ご関心のある方、どうぞご参加ください。

### WLB研修を開催

12月13日(金)9:00~12:00 人材開発部職員育成課は、40歳以上の事務 系職員を対象にワーク・ライフ・バランス 研修を実施します。



## 地域体験実習について(前編)

10月3日~11月28日の毎週木曜日(全8回)、医学教育開発研究センター(センター長:鈴木康之教授)が主催している「地域体験実習」が行われています。保育園実習が学内保育園で、妊婦実習は岩砂病院・岩砂マタニティで、高齢者実習はシティ・タワー診療所で実施中です。今号では、学内保育園「ほほえみ」での様子をお知らせいたします。

#### 保育園実習3回目の様子







### 地域体験実習とは

医学教育開発研究センター(MEDC)では、人との関わり方、よりよい人間関係の構築の仕方を学び、人間性を豊かにし、1人の人間が生まれてから、生涯を終えるまでの人生の流れ、また、その節目となる結婚、出産などの時期に問題が起きやすい、というライフサイクルの概念を理解するとともに、地域における医療や保健に関心を向けることを目的とし、医学科1年後学期に「地域体験実習」を行っています。

一人の園児、高齢者、あるいは妊婦に6週間継続的に関わることで、相手を観察するだけでなく、自分自身の行動や感情に気づき、自分のコミュニケーションを見直す機会となっています。

「最初は園児とどう接していいかわからない様子だった学生たちも、3回目ともなると園児の目線に合わせてコミュニケーションをとろうとする姿も見られるようになってきた」と、担当の川上ちひろ先生は学生の変化を指摘されました。初めは泣き止まなかった園児も笑顔になり、お別れのときは、大勢の園児が「バイバイ」といつまでも手を振って見送る姿が印象的でした。保育園でも普段から学生の話題を出し、園児たちが翌週まで覚えているように工夫を凝らしているそうです。

「中間のまとめ」では、「すこやか」と「ほほえみ」で実習を行った学生が『うまくできたこと』『難しかったこと』『気づき』について発表を行いました。最後に、鈴木康之センター長から、「よりよいコミュニケーションを築くためには関心を示してあげることが大切」とアドバイスがありました。

#### 「中間のまとめ」での学生の声

- ・一週間での成長が大きい。(0歳児担当)
- ・保育士さんを参考にして接した。(1歳児担当)
- ・ 何を言っているか分からないときは、復唱して確認をした。 (2歳児担当)
- ・ 興味の対象がころころ変わる。話題についていけない。 (5歳児担当)

### 岐阜大学フェアにて 男女共同参画推進室の取組を紹介

平成25年11月1~2日に行われた岐阜大学 フェアに、男女共同参画推進室の取り組みを紹 介するポスターを出展しました。

多くの方々に、男女共同参画推進室の取り組 みについて知っていただく機会となりました。

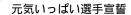
## 女性研究者研究活動支援事業シンポジウムに参加

平成25年11月11日(月)、文部科学省科学 省技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動 支援事業シンポジウム2013-世界で活躍できる 理系女性研究者の育成-」が開催され、男女共同 参画推進室の松井特任助教と殿崎人材開発部長が 参加しました。

### 学内保育園たより

## ■ ■ ■ ● ※ ■ ● ※

平成25年10月19日(土)、学内保育園の運動会が開催されました。あいにくのお天気のため、 体育館で行われましたが、園児たちは元気いっぱい、各種目を全力で楽しみました。

















### **ハロウィン**

平成25年10月31日(木)、仮装をした学内保育園「ほほえみ」はくちょう組とつばめ組の園児たちが、本部棟4階人材開発部を訪問しました。園児たちに「Trick or Treat」と笑顔で言われ、職員はたくさんのお菓子をプレゼントしていました。







岐阜大学男女共同参画推進室(人材開発部職員育成課男女共同参画係) URL: http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel: 058-293-3378 Fax: 058-293-3396 E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp \*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。